

## 港区長よりお言葉をいただきました

### 従来型と都市型コミュニティのそれぞれの長所を生かした協働の推進

港区では、高い専門性や個性豊かで素晴らしい人材を有する大学が数多く立地していることに加え、ボランティア団体やNPO、地元貢献に精力的な企業など、豊富な人材と多様な主体が地域で活躍しております。その地域特性を生かして、港区は基本計画に「多様な実施主体との協働事業の推進」を掲げ、積極的に連携や協働を推進し、地域価値のさらなる向上を図ることとしております。

また、都心区である港区では、コミュニティのあり方も変化してきており、町会・自治会等従来型のコミュニティに加え、新たな住民、NPO やボランティア、商店街、大学、企業などと、それぞれの長所を生かした協働を進めることで、地域の課題を地域住民自らが解決していく、港区にふさわしい都心型の新たなコミュニティの形成をめざしております。

そこでは、地域の課題解決に向けたひとつの手だてとして、地域の大学が有する豊富な知的財産を活用させていただくとともに、学術研究の成果や学校施設等の魅力的な資源を地域のために活かしていただけるよう、また、貴重な学習資源として区民の学習機会の充実に活用させていただきたいと考えております。

貴コンソーシアムの4大学は、生命科学領域においてトップレベルの教育研究を行っているとともに、それぞれの大学で異なった、かつ互いに補完的な特色を持っていることから、連携・協力することで学際生命科学の高度化を推進していくものと伺っております。そうしたなか、貴コンソーシアムは、各大学が個別に行っている市民講演会を連携の下でさらに発展させ、地域における生涯教育を推進することとしており、このたび10月23日に港区白金の北里大学を会場として第4回市民講演会を催されるということは、誠に喜ばしいことであります。

貴コンソーシアムが行っている市民講演会は、高度な専門知識がなくとも興味を沸き立てる魅力的なテーマが並んでおり、間違いなく、区民の学習意欲も高まり効果が上がるものと期待しております。

貴コンソーシアムが、生命科学のさらなる発展に寄与されることに期待を申し上げるとともに、自治体、地域との連携を深め、今後、ますます発展されることを心から祈念申し上げます。

2010年10月

港区長 武井 雅昭



港区長 武井 雅昭

### ● 共通カリキュラム 受講アンケート結果から

学際生命科学東京コンソーシアムに所属している4大学の大学院生が、所属大学院以外での博士前期課程の授業を受け、単位を取得できる『共通カリキュラム』が、平成22年4月から始まりました。前期の講義が終了した時点で、実際に他大学の講義を履修した大学院生にアンケートをとったところ、「**他大学の授業に行く価値がある**」と答えた受講生が**94%**いらっしゃいました。今後も受講者の方々には積極的なご意見をお願いしたいと思いますので、ご協力をお願い致します。

共通カリキュラムの内容や講義スケジュールの変更等については以下のURLからご覧下さい。

URL : <http://gks.tmd.ac.jp/4u/university/curriculum.html>

### ● 第2回4大学合同 企業説明会を開催しました

10月5日(火)に、東京医科歯科大学難治疾患研究所にて、企業説明会を開催いたしました。各企業様のお話だけでなく、インターンシップにも興味がある大学院生が多く、不定期ではありますが、今後も企業説明会を開催したいと思います。

企業説明会の開催は、以下のURLからご覧下さい。

URL : <http://gks.tmd.ac.jp/jpn/support/job.html>



企業説明会にて  
事前説明をお話する  
学生支援部会長：花岡 文雄教授

# 「ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム」をふりかえって

産学地域連携部が運営している「ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム」が2月16日～5月27日まで行われ、修了要件を満たした受講生の方に修了証を送付させていただきました。また優秀な成績を修めた方には、コンソーシアムの協力団体でもある「ワシントン大学ロースクール」が主催する Summer Institute への参加を推薦させていただきました。今回 Summer Institute にも参加された、ベンチャー企業支援を主に担当されている福田紘己さんにこのプログラムについてお話を伺いました。

「自分の仕事上ではあまり特許法に触れることが少なかったのですが、知人にこのプログラムを紹介していただき、知財を深く知ろうとするきっかけとなりました。

実際、このプログラムでは特許法やバイオビジネスなど、難しいと思われる分野について、理解できるようになりました。また受講者の皆様は特許事務所の方や会社の知的財産部の方だけでなく、学生や特許関連以外の企業の方もいて、違う分野の人と知り合うことができたのはうれしかったです。

ワシントン大学での授業は、通常の大学の授業と同等らしく、基本的なことから、判例から特許について考えるといった、実務に近いことまで学ぶことができました。毎年ホットな話題をメインに授業構成を行っているとのことで、今年は「ビルスキー事件」を取り上げて、様々な授業の中でこの判例について語られることが多く、中日に行われた外部向けの「ハイテクノロジー・プロテクションサミット」でもこの話題に触れ、アメリカの実情を知らなくても話題についていくことができました。

すべての講義は英語でしたが、毎日の放課後に受講生8人に1人についてくれたTA(ティーチング・アシスタント)によるフォローや、人材養成プログラムでご講義をくださった竹中先生(ワシントン大学ロースクール教授)が日本人向けに日本語での補講も行っていただき、理解を助けることができました。講義の最終週では自分で学びたい授業を選択するのですが、毎日最後の授業では Adelman 先生(ジョージ・ワシントン大学ロースクール教授)や竹中先生による判例の裏話まできくことができ、大変貴重な経験をすることができました。また3日に1回はレセプション・パーティーのため、地元シアトルの特許事務所にお邪魔することもありました。



インタビューにお答えいただいた  
福田紘己さん



Summer Institute 修了記念(集合写真)

受講者は、15ヶ国から全部で70名ほどでしたが、半分近くは日本人で、特許関連の職業の方だけではなく、大学院生の方もいらっしゃいました。私は2週間半の滞在で、多くの受講生と共に大学の寮に宿泊していましたが、余暇のときには地元で知り合った方のホームパーティーに招かれたり、登山やマリナーズの試合等を楽しむことができました。アメリカで学んだことが、自分の視野を広げることにつながりました。

福田さんはこのプログラムをきっかけに特許についてもっと知りたいと感じるようになったそうですが、福田さん以外の受講生の皆様も「知人・友人にすすめたい」という方がほとんどですので、来年度の開講を楽しみにしてください。

## お知らせ

### ●第4回 市民講演会 開催します



日 時：平成22年10月23日(土)  
13:30 - 17:00

会 場：北里大学  
薬学部コンベンションホール  
(東京都港区白金キャンパス)

連絡先：北里大学・コンソーシアム事務局  
TEL: 03-3444-6191

主 催：学際生命科学東京コンソーシアム  
(お茶の水女子大学  
・学習院大学  
・北里大学  
・東京医科歯科大学)

後 援：港区

※どなたも無料で参加できます(予約不要)

講演内容：

**神経系の素過程と機能素子**  
芳賀 達也(学習院大学・教授)

**ストレスと子供の心**  
室伏 きみ子(お茶の水女子大学・教授)

**ゲノムで解くメタボリック症候群**  
村松 正明(東京医科歯科大学難治疾患研究所・教授)

**漢方の体質診断と健康増進**  
花輪 壽彦(北里大学東洋医学総合研究所・所長)

【特別講演】**ハルナール(前立腺肥大症治療薬)の創薬物語**  
竹中 登一(アステラス製薬株式会社・代表取締役会長/  
東京大学大学院薬学系研究科・特任教授)